

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和6年度分）

団体名： 和東町

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
					(実績額)	交付金 充当額		
1	地域づくり連携 推進事業	地域・産 業創造	移住・定住促進事業	<p>【目的】 人口減少が進むなか、移住・定住の推進を目標に、鷲峰山トンネル開通による人の流れの変化を見据えた受け皿づくりを推進し、総合計画に掲げる「住みたい、住み続けたい、帰ってきたいまち」を目指す。</p> <p>【内容】 町外からの移住者が空家バンクに登録されている空家を取得又は賃借し、自ら居住する目的で行う改修等に対して補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進住宅整備事業（補助率：10/10 上限900千円） ・空家流動化足人事業（補助率：10/10 上限50千円） 	2,854	1,227	<ul style="list-style-type: none"> ・移住促進住宅整備事業補助金 交付申請 3件 ・空家活用移住促進住宅整備事業補助金 交付申請 3件 	令和8年度までに社会増減を「-18人」まで回復することを目標としている。現状、本目標にはとどいていないが、移住による転入者は増加傾向となっていることから施策の効果が出ていると考えられる。
2	地域づくり連携 推進事業	文化振興	なりわい景観保全事業	<p>【目的】 先人から受け継がれた地域の自然や風土等により形成された景観（なりわい景観）を次世代に受け継ぐとともに誇りを持てるまちづくりを推進する。</p> <p>【内容】 景観重点地区に指定された地区に係る景観づくりを行う事業に対し補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶畑景観修景事業補助金（補助率：1/2（限度額5万円）） ・農道修景事業補助金（補助率：1/2（限度額10万円）） ・まちなみ修景事業補助金（補助率：1/2～2/5） 	900	279	<ul style="list-style-type: none"> ・茶畑景観修景事業補助金 交付申請 0件 ・農道修景事業補助金 交付申請 0件 ・まちなみ修景事業補助金 交付申請 1件 	和東町石寺景観について文化遺産登録を目指すため、災害等により被災された箇所への修景、また景観に合致した建造物への改修を行ったことにより景観資産を見に来られる観光客の増加に繋がった。
3	地域づくり連携 推進事業	子育て応 援	子育てしやすいまちづくり 事業	<p>【目的】 「子育てするなら和東町」を目標に子どもたちが元気にいきいきと育ち、地域社会全体で子育てをあたたく見守るまちづくりを推進する。</p> <p>【内容】 グローバル化する社会に適応するため英会話事業を取り入れ海外文化に触れる機会を創出する。また、子ども子育てに対する切れ目ない支援を行うために子ども子育て計画の改定を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英会話講師派遣事業 ・子ども子育て支援事業計画改定事業 	4,920	2,116	<ul style="list-style-type: none"> ・英会話授業 年10回実施 ・子ども子育て支援事業計画改定業務 	英会話事業は園児が楽しく英語に触れる機会をもつだけでなく保護者からも好評で、自宅でも覚えたことで会話が弾むといった声がかかる。子育て支援事業については、時代の変化とともにニーズも変化しており、住民等からの意見を反映させる計画にすることで、子どもがたくましく元気に育つまちづくりへ一歩前進した。
4	地域づくり連携 推進事業	地域・産 業創造	スポーツ環境整備事業	<p>【目的】 本町の自然を活かし、自転車文化の創出を目指しており、2027年に開催されるワールドマスターズゲームズを契機に、国内外を含めた多くの方に地域の魅力を発信するとともに、ハイレベルなスポーツ体験の機会を創出する。</p> <p>【内容】 子どもたちがスポーツに親しむことができる環境を整備するとともにWVG開催1000日前イベントとして国内トップレベルの大会「CJ1」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WVG開催1000日前イベント「CJ1」実施 ・MTBランド運営・管理業務 ・MTB体験イベント 	5,871	2,523	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドマスターズゲームズ実行委員会の開催 ・茶源郷まつり等でのマウンテンバイク体験教室の開催 ・安全にマウンテンバイクが利用出来るよう、レンタルバイクのメンテナンスを実施 ・CJ1開催（令和6年8月17・18日） ・大会開催に向けたコースメンテナンス 	開催が近づいてきたWVG本番に向け、国内最高峰のMTB大会CJ1を開催することで機運醸成が図れ、大会運営に係る知識も得ることが出来た。また、プロ選手の活躍を直接目にすることや体験イベントを通じて競技に興味を持つ子供たちが増えている。運営には湯船地域の協力もあり、他地域との交流も実現できている。

5	地域づくり連携推進事業	防災	防災機能向上事業	<p>【目的】 激甚化・頻発化する自然災害に備え、被害を最小限に抑えるための対策や体制づくりを進め、災害に強い安心安全なまちづくりを推進する。</p> <p>【内容】 総合保健福祉施設は避難所機能持つ中核的な防災拠点であるため、避難所部分の備品を整備し、防災拠点としての機能充実を図る。また、災害時の情報収集に備えるためドローンを4基、配備し団員に向けた操縦訓練を実施し有事の体制を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合保健福祉施設備品（避難所部分） ドローン購入及びドローン講習 自主防災組織補助金 	19,896	8,554	<p>総合保健福祉施設が令和7年4月に供用開始を迎えるため、避難所として活用するために必要な備品整備を実施。ドローンについては4基購入し、講習では消防団員13名が操縦に必要な知識を身につけることができた。</p> <p>また、自主防災組織については、令和6年度に新たに1団体が新たに設立された。</p>	<p>避難所として多くの住民を収容可能な施設が完成することで円滑な避難所運営につながる事が期待される。</p> <p>ドローン講習を通じて、災害時の活動内容などの協議を深めることとなり、団員ひとりひとりの防災意識の向上につながった。</p> <p>自主防災組織については今回新たに消防団0Bが中心となり地域で火災が発生した際など、初期消火補助にあたっていただく等、地域防災力向上に期待ができる。</p>
7	地域づくり連携推進事業	交流と連携	交流拠点エリア推進事業	<p>【目的】 鷲峰山トンネル開通を見据え、グリーンティ和東から和東運動公園一帯を「交流拠点エリア」と位置付け、交流拠点の玄関口として整備していく。</p> <p>【内容】 交流人口の拡大、観光客来町時の受け皿の拡大を目指し、交流拠点エリアの整備を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンスローモビリティ周遊観光事業 交流ステーション「和東の郷」運営事業 和東運動公園美化事業 観光案内所運営事業 	13,408	5,765	<p>鷲峰山トンネル開通を見据え、観光客の町内景観周遊等の受入体制の整備を行うとともに和東運動公園を庭園としてPRするため美化事業を推進する。また観光案内所を運営し、観光客の情報収集の場を構築するとともに、グリーンスローモビリティによる周遊観光を促進。</p> <p>※R6年度観光案内所利用者数 5,378人 R6来町者数 188,332人</p>	<p>本事業において、観光案内所で魅力を知り、グリスロ周遊観光を行い、和東の郷で特産品を購入するというサイクルができてきた。また、和東運動公園は季節ごとに魅力があり、宿泊施設「和東荘」を利用される方が散歩コースとして散策されるなど、庭園としての整備が実りつつある。</p> <p>また、11月に開催した茶源郷まつりではカフェ周辺及び運動公園芝生エリアを会場とし、フィナーレに花火を打ち上げたことにより7,000人の来場者があった。</p>
9	地域づくり連携推進事業	環境先進地	地域循環型農業推進事業	<p>【目的】 「暮らしのデザインを農から」を目的とし、循環型農業の取り組みを進め、次世代へつなぐ環境作りを推進し、「環境先進地の郷」を目指す。</p> <p>【内容】 町内で排出されるゴミから茶葉に活かすことができる堆肥の製造を目標とするとともに、先進地視察による技術向上や近隣自治体等との連携・協力を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域循環型農業推進事業委託 	9,200	3,956	<p>第3期コンポスト学校を開催し、全国から5名の参加があった。（第1期は3名、第2期は8名）</p> <p>また、近隣学校と連携し、完熟堆肥を用いた野菜の栽培状況の研究を進めているとともに成果発表会を開催し情報共有の場としている。</p> <p>和東堆肥の会については、52の家庭が参加され、堆肥活用が少しずつ増加している。（R5は42家庭）</p>	<p>コンポスト学校の参加者が増加しており、今後も期待できる結果となった事に加え、和東堆肥の会参加者が52軒に増えたことで、生ゴミを堆肥へと循環させていくサイクルの土台はできつつある。</p> <p>今後の展開を検討しつつ、持続可能なシステム構築を考えていく。</p> <p>コンポスト学校参加者が得た知識を持ち帰り、事業展開や堆肥事業の指導を行うなど、今後の事業拡大に期待ができる。</p>
13	市町村間連携推進事業	その他	電算クラウド化推進事業	<p>【目的】 総合行政情報システムや財務会計システム、戸籍システムのクラウド化を推進する。</p> <p>【内容】 京都府内自治体が共同でクラウド化を推進し、データを遠隔地で保管・バックアップを行う事により情報セキュリティ強化を図るとともに、戸籍システムのクラウド化を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電算システムクラウド化事業 戸籍システムクラウド化事業 	10,071	4,811	<p>サーバー等機器費用やバックアップ用サーバー費用などを協議会更正団体と人口割等により負担。また、戸籍システムについてはクラウド移行料及びクラウド利用料を支出。</p>	<p>クラウドの導入によりコスト削減をはじめ、情報セキュリティ強化や災害時の業務継続性の確保、事務負担の軽減を図ることができた。</p>
14	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	道路等維持修繕長寿命化対策事業	<p>【目的】 通勤・通学や生活の利便性を高める道路ネットワーク実現を目指すとともに、利用する人が安心して通行できる快適な道づくりを目指す。</p> <p>【内容】 町内各区からの要望に基づく町道の計画的な維持修繕により、住民の安心・安全の確保を図るとともに町道補修については材料支給を行い住民と協働で維持管理を行う。</p>	909	312	<p>将来の財政負担軽減を見据え、従前から計画的に道路長寿命化を図る維持修繕事業を実施している。</p> <p>今年度は町道園下出線他3線の長寿命化を図るための測量設計業務を実施するとともに町道湯船朝宮線の冬季における凍結防止剤散布等の維持管理を地元区に実施いただく。</p>	<p>町からの要望に基づき事業の優先度を定め、計画的に事業実施できたことにより、コスト軽減を実現するとともに、住民生活の向上に繋がっている。</p>

15	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	地域デジタル基盤強化推進事業	<p>【目的】 デジタルを取り入れた情報手段の普及に努め、より効果的・効率的な公共サービスが提供されるまちづくりを目指す。</p> <p>【内容】 職員利用端末が導入から8年以上が経過しており、経年劣化による不具合発生リスクが非常に高くなっていることから端末更新を実施する。また、総合保健福祉施設におけるネットワーク構築を実施。</p>	33,054	11,362	経年劣化により不具合の発生リスクが高くなっている端末及び仮想化基盤管理サーバ、メールサーバの更新を実施するとともに、令和7年4月から供用開始となる総合保健福祉施設におけるネットワーク構築を実施する。	取り扱う個人情報が多様化していく中で、セキュリティレベルの向上をはかることが行政サービスを安定して提供することにつながっている。
16	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	公共施設等活性化促進事業	<p>【目的】 公共施設の老朽化等に伴う改修・長寿命化、住民サービスの維持向上など、住民が安心して施設を利用し和東町の活性化へつなげるため、費用対効果を考え、計画的に対策を講じる。</p> <p>【内容】 新庁舎である総合保健福祉施設のコンセプトである「誰もが利用しやすい施設」を実現するため令和7年度の供用開始に向け、フリーWi-Fiの設置を行う。</p>	990	340	総合保健福祉施設の利用者誰もが利用できるフリーWi-Fiを設置する。	「誰もが利用しやすい設備」を実現するとともに「交流拠点」としての側面からも利用者同士の交流に期待ができる。
17	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	その他	情報システム強化事業	<p>【目的】 町ホームページや茶源郷行政情報配信システムの機能向上を図るとともに、住民が使いやすい情報手段の普及に努め、これらを活用した効果的・効率的な公共サービスが提供されるまちを目指す。</p> <p>【内容】 令和3年にリニューアルしたホームページをより見やすくするためにデザインの刷新を図る。また、茶源郷行政情報配信システムを通じて町議会のライブ配信を行っているが、不具合（フリーズ等）が発生している状況もあるため機器更新を行う。</p>	4,730	1,626	ホームページデザイン更新により誰もが必要な情報を簡単に確認できるようにする。議会中継システム機器更新により不具合の発生しない環境を整備する。	本機器は町内行事（茶源郷まつりや議会、保育園行事、消防団活動等）の様子を各家庭に配信するだけではなく、ビデオ通話機能も備わっており、診療所問診や近所の方との通話も可能なため、非接触型のコミュニケーション形成につながっている。また、ホームページのデザインリニューアルにより発信した情報を誰もが確認しやすくなった。